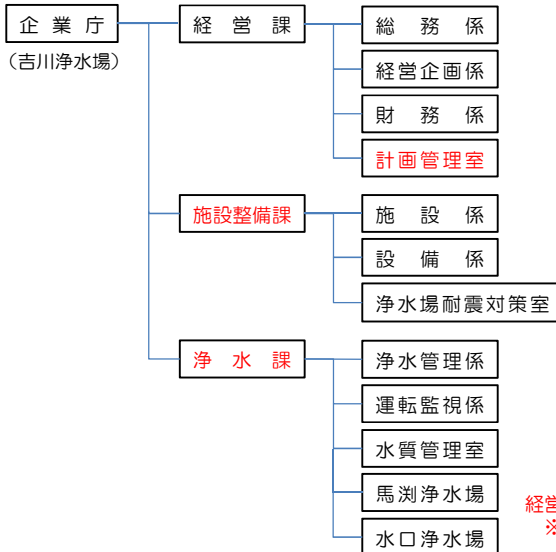


組織図



経営課25名、施設整備課17名、浄水課31名 計73名
 ※朱書きの所属は水道技術職員在籍（令和3年6月現在）

企業庁に採用されたら・・・

- ✓ 職種の専門性が高く、水道職のエキスパートを目指せます。
- ✓ 勤務範囲が限定的で、異動があっても引越しや単身赴任が伴うものは基本的にありません。
 （ほぼ全職員が吉川浄水場・馬淵浄水場・水口浄水場のいずれかに勤務）
- ✓ 県庁の関連主要機関への人材交流も行っていきます。
 （生活衛生課、琵琶湖環境科学センター、衛生科学センター等）
- ✓ 定期的なジョブローテーションにより様々な経験を積み、キャリア形成を行えます。
- ✓ 外部機関（日本水道協会等）主催の研修へ積極的に参加し、水道職に必要な専門知識の習得を支援しています。

勤務条件・福利厚生

初任給	202,852円（経歴等による加算あり） ※地域手当を含む、令和3年4月現在のもの	勤務時間	午前8時30分から午後5時15分まで
諸手当	扶養手当、通勤手当、住居手当、地域手当、期末・勤勉手当等支給条件に応じて支給があります。	休日	土・日曜日、祝日、年末年始 ※勤務先により、交代制勤務あり
勤務地	・吉川浄水場（野洲市吉川3382） ・馬淵浄水場（近江八幡市馬淵町1875） ・水口浄水場（甲賀市水口町水口6181）	休暇制度	年次有給休暇、特別休暇（病気、急引、夏季、結婚、産前産後、育児時間、ホリデイ、配偶者出産、男性職員育児等）、介護休暇、育児休業等の制度があります。
福利厚生	職員住宅（単身用・世帯用）、宿泊・保養施設、共済・互助会制度、保険事業、サークル活動等、県職員と同様の福利厚生を利用できます。		

お問い合わせ

● 滋賀県企業庁経営課
 Tel : 077-589-4608
 Fax : 077-589-4715
 E-mail : na01100@pref.shiga.lg.jp

● 滋賀県企業庁HP
<https://www.pref.shiga.lg.jp/kigyou/>



（2019.11作成 2021.7一部改訂）

滋賀県職員（水道職）お仕事案内

～信頼の水で、地域の未来に貢献します～



滋賀県 企業庁

企業庁の役割

滋賀県企業庁では「水道用水供給事業」、「工業用水道事業」の2つの事業を経営しており、より「安全」で「安心」できる水を「安定」して供給するため、休むことなく、水道を見守っています。

- 水道用水供給事業・・・生活に欠かせない水道水を市町の水道施設に供給する仕事です。いわば「水道水の卸売業」にあたるものです。
- 工業用水道事業・・・工場等で使用される水（冷却水や洗浄水等）を供給する仕事です。

整備

ライフラインの保全・整備

浄水場、水道管等の整備を行い、各施設・設備を維持していくため、点検・修繕工事などの発注や現場の監督業務などを行っています。

供給

施設運営による安定供給

遠方監視システムで各浄水場や調整池等の水量・水質の調整を24時間体制（夜間は業者に委託）で実施し、いつでも「安定」した水の供給を行っています。

検査

高いレベルでの水質管理

水道水が安全・安心であることを証明するため、水道GLPをもとにした高い精度の水質検査や、水質改善の為の調査・研究を行っています。

発信

県民への情報発信

浄水場見学や小学校への出前講座、広報誌の発行など、水道事業や水の大切さをPRするために様々な活動を行っています。

仕事紹介（水道職）

水道職は『化学』『機械』『電気』の3分野を専門とした職員で構成されています。それぞれの分野ごとに様々な仕事があり、その一部を先輩職員の「生の声」として紹介します。

先輩職員の声（化学）

島田主任技師（浄水課水質管理室）2015年入庁

※職名・所属は取材当時

<仕事内容>

水質管理室では、主に企業庁が供給する水道水や水源となる琵琶湖水・河川水の分析を行っています。また、浄水処理が適切であるか実施に基づいた調査研究を行い、水処理の改善や検討なども行っています。

<やりがい・難しさ>

水質検査は分析種ごとに多種多様で、正確な分析を行うためには技術的な専門性はもちろん、豊富な経験が必要になります。私自身まだまだ経験が浅いですが、難易度の高い分析方法を習得し、浄水処理に貢献できることにやりがいを感じます。

<企業庁の魅力>

水道水は人々が生活する上で特に欠かせないものです。水質管理により水道水の安全性を確保することで、良質な水を供給することができます。私たちの分析が、各家庭の安全安心な生活を支えているという事に責任を感じ、同時に誇りを感じます。



- 8:30 始業（朝礼）
- 有機物測定準備
- 野洲川へ採水、水口浄水場へ立ち寄り
- 12:00 昼休み（1h）
- 有機物測定、測定データまとめ、結果分析
- 別項目の測定作業準備
- 17:15 退庁

先輩職員の声（機械）

東郷主任技師（浄水課馬淵浄水場）2016年入庁

※職名・所属は取材当時



<仕事内容>

浄水課では、各浄水場の上水（水道水）や工水（工場専用の水）が問題なく処理出来ているか監視・点検し、問題があれば対策を行っております。浄水場や各関連施設の維持管理を行うため、業務委託や修繕工事の設計（費用の算出等）や工事監理（現場立会等）も行います。また各市町・企業への管路等の管理も行っており、各担当者との協議等もあります。万が一漏水や油流入等の事故が発生した場合、すぐに復旧対応を行います。

<やりがい・難しさ>

浄水課での業務は多岐に渡ります。そのため機械の知識はもちろんのこと、電気・化学・土木等の知識や、説明や交渉のノウハウ等、様々な能力が要求されます。ただし同時に、専門分野以外の様々な面で成長出来る機会があります。

<企業庁の魅力>

企業庁全体として見ると、上記の浄水課での業務に加えて水質専門、工事専門、事務専門の部署等、様々な業務があります。機械採用に関わらず様々な経験が出来る、知識を身に付けることが出来るのが、企業庁の魅力の1つだと思います。

- 8:30 始業（朝礼）
- 設備修繕の業者打合せ
- 場内点検、浄水処理確認
- 12:00 昼休み（1h）
- 埋設管路パトロール、場外設備点検
- 修繕工事の設計
- 17:15 退庁

先輩職員の声（電気）

山本主任技師（施設整備課設備係）2016年入庁

※職名・所属は取材当時

<仕事内容>

施設整備課では、企業庁内の設備や配水管の更新工事の設計（設備更新にかかる費用の算出や仕様書・図面作成等）・工事監理（現場確認、工程チェック等の工事の監督）等を主な仕事としています。

私は主に電気設備の更新工事を担当しており、昨年度は吉川浄水場の電源装置の更新や水口浄水場の電動機更新工事に携わりました。

<やりがい・難しさ>

電気設備に関する専門的な知識はもちろんのこと、工事の監督時にはコンクリート等の自らの専門外の知識も必要となります。自分で基準書を調べたり、時には上司に質問したりしながら、自らの知識を日々研鑽しています。

<企業庁の魅力>

前職は市役所事務とメーカーの製造技術をしており、それと比較すると施設整備課の業務のスケジュールは長く、担当する設備に対して、じっくりと取り組める環境にあると思います。また、様々な経験を積まれた先輩方の背中を追いながら、多くのことを学べる点についても魅力であると思います。



- 8:30 現場立会い、工事検査
- 次回工事の業者打合せ
- 12:00 昼休み（1h）
- 工事の設計・仕様書作成
- CAD図面修正
- 17:15 退庁

水道職以外の仕事

○事務関連の仕事（経営課/総務係ほか・計画管理室）

給与や工事の入札・契約事務、予算・決算作業や日々の支払い事務、水道料金の算定や経営計画の策定、広報、危機管理対応や補助事業の調整、積算基準の改定など事務的な仕事の全般を行っています。

○土木関連の仕事（施設整備課/施設係・浄水場耐震対策室）

水道管の布設・更新、浄水場施設の更新など土木関係の工事や設計業務の発注、工事監理等の仕事を行っています。



～管路図面確認～ （施設係）



～浄水場見学案内～ （経営企画係）